

車道側からの外付けだから低コスト!

外付け吸音板落下防止システム



W-SAFETY SYSTEM

【WSシステム】

老朽化した現況の落下防止索（支柱内蔵式）を取替えずに補完するもので
遮音壁前面（車道側）に外付け設置します。取替えのためのパネル脱着も不要。
すべての取付作業が車道側から可能で設置後の点検も容易。



西日本高速道路メンテナンス関西株式会社



大東金属株式会社

外付け吸音板落下防止システムの特長

吸音板の脱着作業は不要

現況の老朽化した遮音板落下防止ワイヤーは支柱内の空間に内蔵されており、これを取り替えるには当該支柱左右のスパンの吸音板を撤去・再設置する必要があるが、本システムは、現況のまま吸音板に外付けのワイヤーを設置するものであり、現況ワイヤーの撤去や吸音板の脱着は不要です。

実物の吸音板で試験済み

遮音壁取替工事中から発生した実物の吸音板に、本システムのワイヤーと接続金具（アイナット・ワンサイドボルト）などをセット。それを足場材で組上げた試験台から落下させて、その性能を確認しています。

事故復旧作業も省力化

使用ワイヤー長を最長20mとし、これを連結ナット（ターンバックル式）でつなぎ合わせることで、事故復旧時などのワイヤー抜き取り復旧延長を最小限に留めることが可能です。

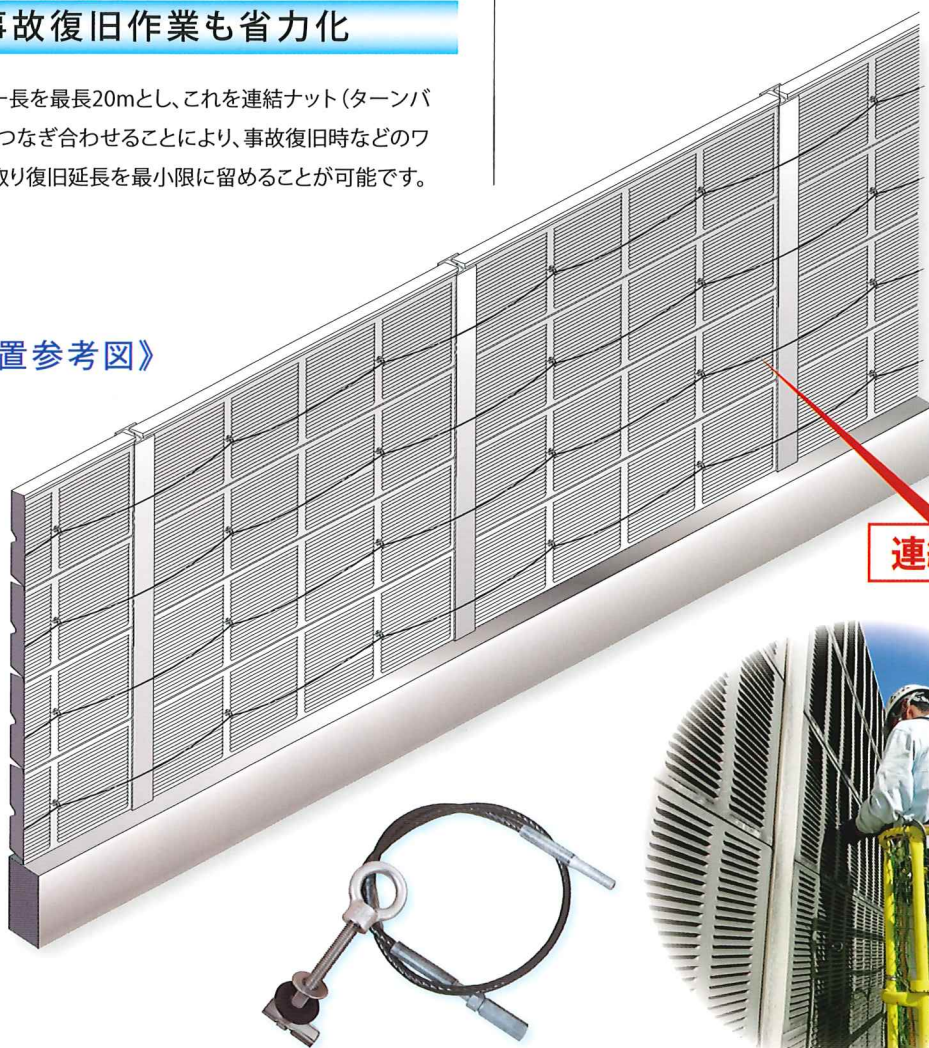
取付け作業は車道側から

吸音板の前面にワイヤーを接続する金具には、アイナットとワンサイドボルトを採用。ワンサイドボルトは、パネル背面まで貫通させた孔に、車道側から挿通、先端に設けたプレートターンさせて固定するもので、削孔からパネル接続金具の取付け、ワイヤーの設置までの作業が、すべて車道側から可能です。

点検も車道側から容易に

現況の遮音版落下防止ワイヤーは支柱に内蔵され、点検しづらい形で配置されているが、本システムでは吸音板前面に外付けされることから、ワイヤーの点検も車道側から簡単にでき、劣化・損傷もいち早く発見できます。

《設置参考図》



連結ワイヤー